

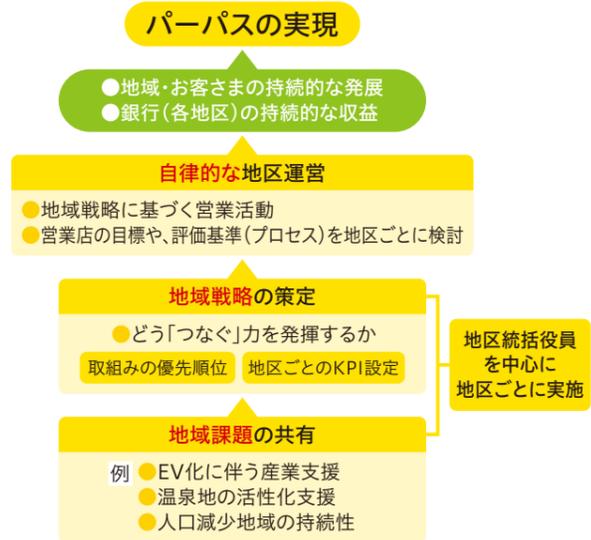
営業プロセス改革

効果的な営業態勢を築くことで、お客さまへの「つなぐ」力を強化していきます

地区ガバナンス体制確立

各エリアに4名の地区統括役員を配置し、地区ガバナンス体制を強化しています。地区に一定の権限を委譲し、地域戦略の立案や目標設定など、ボトムアップによる自律的な地区運営に取り組むことで、地域・お客さまの持続的な成長と当該地区における当行の持続的な収益確保を目指しています。

地区ガバナンス体制の概略



デジタルを活用した新たな営業スタイルの確立

多様化したお客さまニーズに対応するため、Office365の活用や、融資契約をWEB上で完結できる「電子契約サービス」等を活用した効果的な営業活動への転換を図っています。2024年3月の電子契約率※は、住宅ローンが96.4%、一般貸出が73.8%となっています。2023年7月には「ぐんぎんビジネスポータル」を導入し、さらなる効率化を実現しました。

※当月の融資契約に占める電子契約の割合



業務プロセス改革

業務を効率化することで経営資源を「つなぐ」力に注いでいきます

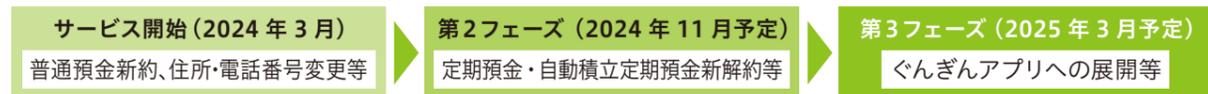
営業店事務改革

2024年3月に店頭タブレットを導入し、普通預金口座開設、住所・電話番号変更等を対象に、ペーパーレス、オペレーションレス、印鑑レスの仕組みを実現しました。今後も対象手続きの拡大など店頭タブレットを基軸とした事務改革に取り組み、事務処理時間の短縮および営業店システム更改時(2027年度)の端末・コストの削減を目指します。



店頭タブレット画面イメージ

店頭タブレット展開スケジュール



業務改革プロジェクト

2019年から開始した「業務改革プロジェクト」では、本部横断的に組織されたワーキンググループが中心となって業務改革に取り組んでいます。今中期経営計画では、「業務のムダ排除」と「業務報告ゼロ化」のテーマを深掘りし、さらなる業務の効率化を進めています。「業務のムダ排除」については、これまでに行員から集まった業務廃止・見直しなどの意見、6,905件の内1,274件を案件化し、年間69万時間分の業務削減を実現しました。

「業務報告のゼロ化」では、重要性や必要性が低下して

いる報告の廃止を進めています。また、2023年に計数や各施策の推進状況などを可視化するダッシュボードを導入しました。ダッシュボード導入により、営業店が推進や案件管理を行うための情報をダッシュボード上に入力することで、役員や本部が全体の進捗状況や実績をリアルタイムで確認できる仕組みとし、営業店による報告のための資料作成業務の廃止に取り組んでいます。

今後もダッシュボードの活用をさらに進め、報告ゼロ化・簡略化に向けた取り組みを推進していきます。

チャネル改革

既存店舗を再構築し、相談拠点やデジタルチャネルを拡充することで「つなぐ」力を強化していきます

店舗戦略

インターネットバンキングやぐんぎんアプリなどのデジタルチャネルの普及に伴い、銀行の窓口に来店されるお客さまは年々減少しています。その一方で、相続・資産形成などの専門性の高い相談や、依然として根強い現金取引などの幅広いニーズにお応えするため、当行では店舗網・店舗機能の最適化と相談拠点・ATM提携の拡充に取り組んでいます。

店舗網・店舗機能の最適化

これまでに44店舗の統廃合(ランチ・イン・ランチ)を実施してきました。今後も地域特性などを総合的に判断しながら、既存店舗のリニューアル等に合わせ、店舗の統廃合を進めていきます。

店舗機能の面では、4地域でフラッグシップ制※を導入し、地域の店舗網を活かしたお客さまに最適な金融サービスを提供していきます。

※地域の中核店である「フラッグシップ店」と一部業務を軽量化した「サテライト店」が連携し、地域全体で効率的な業務運営を行う店舗体制

相談拠点の拡充

土・日・祝日も営業する相談拠点「個人相談プラザ」を群馬県内に4店舗設置しております。また、2024年8月には埼玉県深谷市に群馬県外初の「個人相談プラザ深谷」を開業いたします。

ATM提携の拡充

20の地域金融機関とのATMの個別提携や共同化に加え、ゆうちょ銀行やコンビニATM等との提携により、当行キャッシュカードで利用できるATM網を拡大し、お客さまの利便性を高めています。

DigiCal 戦略の進化

「デジタル(Digital)」と「対面営業(Physical)」を効果的にミックスした、当行グループならではの顧客体験の提供を目指し、バンキングサービスと非金融サービスの連携に取り組んでいます。2022年4月に提供を開始した個人のお客さま向けスマートフォンアプリ「ぐんぎん

近年の新築店舗

安中・磯部・松井田支店
(2021年5月新築)



中之条・原町支店
(2021年6月新築)



伊勢崎・伊勢崎西・伊勢崎北・あずま支店
(2023年1月建替え)



ATM 個別提携金融機関

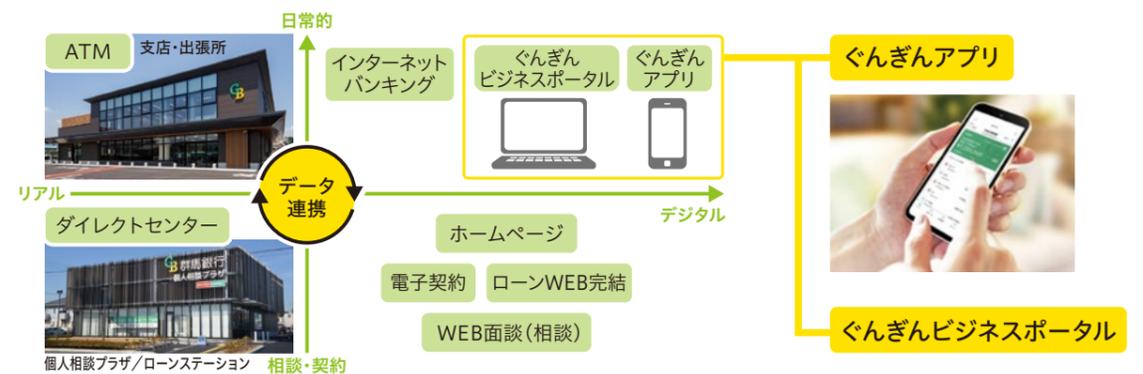
(金融機関コード順・2024年4月末現在)

東邦銀行、足利銀行、常陽銀行、横浜銀行、第四北越銀行、山梨中央銀行、八十二銀行、栃木銀行、高崎信用金庫、桐生信用金庫、アイオー信用金庫、利根郡信用金庫、館林信用金庫、北群馬信用金庫、あかぎ信用組合、群馬県信用組合、ぐんまみらい信用組合

ATM 共同化金融機関

(金融機関コード順・2024年4月末現在)

東和銀行(1か所)、高崎信用金庫(1か所)、しのめ信用金庫(6か所)、多野藤岡農業協同組合(2か所)
※しのめ信用金庫は、多野藤岡農業協同組合が幹事金融機関ATMの共同利用1か所を含む



1 群馬銀行について

2 パーパスを実現するための戦略

3 パーパスの実現を支える経営基盤